

令和7年度

「運営に関する計画」  
最終評価

大阪市立貫江田幼稚園

令和8年3月

## 1 学校運営の中期目標

**現状と課題**

- 本園の子どもたちは、自分の好きなことや興味のあることに根気よく取り組む姿が多く見られる一方で、自分の思いを言葉にして伝えることが苦手だったり、自分の思いが通らない時に気持ちを切り替えることが難しい様子が見られる。5歳児は、遊びを意欲的に広げることを楽しんでいるが、自分のペースで遊びを進めてしまい友達といざこざになることが多いという課題がある。4歳児は、教師の見守りのもと好きな遊びを見つけて存分に遊んでいるが、自信がもてず大人との関わりを強く求めるという課題がある。
- 令和 6 年度より幼稚園型認定こども園となり、園で長い時間を過ごす子どもが増えた。長時間保育により、心身ともに疲れが見られたり、不安定になって友達といざこざになったりする姿が見られる。
- 幼稚園生活が幼児にとって安全で安心できるものとなるように早寝、早起き、朝ごはんなどの基本的習慣を身につけ、心身ともに健やかに成長できるよう家庭との連携を深めていくことが必要である。家庭でも継続できるような指導方法の工夫が課題である。

**中期目標****【安全・安心な教育の推進】**

- 保護者アンケート「幼稚園は、安全教育や防災教育の推進に努めている」の項目について、肯定的回答の割合を 95%以上にする。
- 保護者アンケート「友達のことを気にかけて、大切にできるようになってきた」の肯定的回答の割合を 95%以上にする。

**【未来を切り拓く学力・体力の向上】**

- 保護者アンケート「子どもは遊びの中において自分で考え行動するようになった」の項目について、肯定的回答の割合を 95%以上にする。
- 保護者アンケート「子どもは友達と思いや考えを出し合いながら遊ぶことを楽しむようになった」の項目について、肯定的回答の割合を 95%以上にする。
- 保護者アンケート「子どもは手洗いやうがいを丁寧にするようになった」の項目について、肯定的回答の割合を 95%以上にする。

**【学びを支える教育環境の充実】**

- 保護者アンケート「幼稚園は、地域の方々との関わりや幼小交流など、いろいろな人とのふれあいを大切にしている」の項目について、肯定的回答の割合を 95%以上にする。

## 2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

### 【安全・安心な教育の推進】

#### 学校園の年度目標

- 保護者アンケート「幼稚園は、安全教育や防災教育の推進に努めている」の項目で、「そう思う」と回答する割合を年度当初より向上させる。
- 保護者アンケート「友達のことを気にかけて、大切にできるようになってきた」の項目で「そう思う」と回答する割合を年度当初より向上させる。

### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

#### 学校園の年度目標

- 保護者アンケート「子どもは遊びの中において自分で考え行動するようになった」の項目で、「そう思う」と回答する割合を年度当初より向上させる。
- 保護者アンケート「子どもは友達と思いや考えを出し合いながら遊ぶことを楽しむようになった」の項目で、「そう思う」と回答する割合を年度当初より向上させる。
- 保護者アンケート「子どもは手洗いやうがいを丁寧にするようになった」の項目で、「そう思う」と回答する割合を年度当初より向上させる。

### 【学びを支える教育環境の充実】

#### 学校園の年度目標

- 保護者アンケート「幼稚園は、地域の方々との関わりや幼小交流など、いろいろな人とのふれあいを大切にしている」の項目で、「そう思う」と回答する割合を年度当初より向上させる。

## 3 本年度の自己評価結果の総括

本年度の幼稚園運営の全体を通して、目標達成に向けた3つの視点において、次の成果が見られた。

### ● 「安全・安心な教育の推進」について

- ・ 幼児の安全を第一に考え、長時間保育の間の教職員の配置や保育場所などについて検討した。非常時における行動については、検討を重ねたことで教職員一人一人の意識が高まった。
- ・ 幼児一人一人に合った支援方法を考える中で、複数の教職員で子どもの様子を共有したことで、多面的な幼児理解につながった。
- ・ 異年齢の友達と一緒に遊ぶ機会を積極的につくったことで、互いに親しみをもち、一緒に過ごすことを楽しむようになった。
- ・ 中期目標について、保護者アンケート「幼稚園は、安全教育や防災教育の推進に努めている」の項目について、肯定的回答の割合はともに100%となった。「友達のことを気にかけて、大切にできるようになってきた」の項目については、最終評価で出た課題に取り組んだことや、認定こども園になり、教職員が増えたことを生かして多面的に幼児理解をし、保育内容を工夫したことで、肯定的回答の割合が100%となった。

### ● 「未来を切り拓く学力・体力の向上」について

- ・ 就学前教育カリキュラムをもとに月案、週案を立案し、活動内容について担任間で話し合い保育内容を検討した。互いに思いを出し合いながら協力して遊びをすすめたり、友達のことを大切に互いに思いやったりする様子が見られた。
- ・ 毎月幼児の実態に即した保健指導を行ったことで、手洗いや歯磨きの習慣がついたり、3色食品群への関心をもつきっかけになった。
- ・ 中期目標について、保護者アンケート「子どもは手洗いやうがいを丁寧にするようになった」の項目について、感染症対策が落ち着き、認定こども園移行があった令和6年度

の最終評価の数値が下がったことを受け、今年度は取り組み方を検討して最終評価の数値は向上した。引き続き、手洗いうがいの大切さを周知していく。

●「学びを支える教育環境の充実」について

- ・近隣の小中学校の児童・生徒との交流を昨年度より多く実施し、認めてもらう喜びを感じることができ、就学への期待が高まった。
- ・今年度から4歳児も地域との交流の機会をもち、いろいろな人と関わる楽しさを感じることができた。更生保護女性会の方に引き続き絵本の読み聞かせ後作品展を参観していただき、保育内容を周知することができた。
- ・中期目標について、保護者アンケート「幼稚園は、地域の方々との関わりや幼小交流など、いろいろな人とのふれあいを大切にしている」の項目について、4年間で近隣小学校との関わりを増やし、今年度は中学校や近隣保育所との交流をもつことができた。次年度も地域との交流の機会を積極的にもつ。

アンケート結果では、全ての項目で肯定的回答の高い割合を得ることができた。

今年度の成果と課題を受けて、次年度以降も幼児理解に努め、教職員の資質向上と保育内容の充実を図る。

大阪市立貫江田幼稚園 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【安全・安心な教育の推進】</b></p> <p><b>学校園の年度目標</b></p> <p>○保護者アンケート「幼稚園は、安全教育や防災教育の推進に努めている」の項目で、「そう思う」と回答する割合を年度当初より向上させる。</p> <p>○保護者アンケート「友達のことを気にかけて、大切にできるようになってきた」の項目で「そう思う」と回答する割合を年度当初より向上させる。</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>学校安全計画に基づき、安全指導や防災指導を行う。</p>	B
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年7回以上、様々な状況を想定し、実施方法を工夫した避難訓練を実施する。</li> <li>・学期に1回、子どもと教職員で園内の安全点検を実施する。</li> <li>・保護者アンケート「遊具や用具の安全な扱い方を考えて、遊ぶようになってきた」の項目で、「そう思う」と回答する割合を年度当初より向上させる。</li> </ul>	
<p>取組内容②【2 豊かな心の育成】</p> <p>子どもが互いを認め合えるクラスづくりをし、自己肯定感の向上に努める。</p>	B
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・異年齢交流の年間計画を立てて取り組む。</li> <li>・1日1回以上、友達や教師の話に興味・関心をもって聞いたり自分の思いを話したりする機会をもつ。</li> </ul>	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

**中期目標の達成状況**

保護者アンケート「幼稚園は、安全教育や防災教育の推進に努めている」「友達のことを気にかけて、大切にできるようになってきた」の項目について、肯定的回答の割合はともに100%となり、目標達成状況はAである。

学校園の年度目標

	肯定的な回答の割合			「そう思う」と回答した割合		
	5月	10月	1月	5月	10月	1月
幼稚園は、安全教育や防災教育の推進に努めている	99%	100%	100%	78%	87%	94%
友達のことを気にかけて、大切にできるようになってきた	95%	100%	100%	56%	74%	79%

取組内容①

	肯定的な回答の割合			「そう思う」と回答した割合		
	5月	10月	1月	5月	10月	1月
遊具や用具の安全な扱い方を考えて、遊ぶようになってきた	95%	100%	100%	60%	75%	83%

- ・4月、5月、6月、8月、12月（火災）、9月（地震・火災）、10月、2月（防犯）、1月（地震・津波）の計9回避難訓練を実施した。8月と12月は、2号認定こどもの保育時間帯で行い、教職員の動き方を考えた。6月に園児が消防車を見学したり、福島消防署の消防士の防火服を見せてもらったりし、興味をもった。9月には防災ヘルメットを使用して訓練を行い、地震の題材の絵本を読んで関心をもたせた。10月の防犯訓練で出た課題を2月の防犯訓練で生かした。1月に近隣小学校の避難訓練に参加し、職員間の役割分担について検討した。
- ・年齢や子どもの状態に応じて遊具の片付け方や使い方について幼児と話し合いをした。4月当初に5歳児が4歳児にスケーターやジャングルジムの使い方、はさみの扱い方などを絵でかいて教え、4歳児が安全を意識する姿につながった。
- ・プール事故発生時初期対応研修・食物アレルギー対応研修・緊急時対応研修（医療的ケア児について）を行い、事案発生時における対応について教職員間で共通理解を図った。
- ・園庭での水遊びが始まる前に、幼児と一緒に石拾いをし、安全に遊べる環境を整えた。その後も自らすすんで石や落ち葉を拾う姿が見られる。

取組内容②

- ・4月当初、5歳児が3歳児に身支度の仕方、発育測定の方法など教える機会をもった。また、5歳児が水遊びや泥遊びの約束を知らせ、頼られる喜びを味わった。
- ・夏祭りでは、お店屋さんとお客さんになって遊ぶ中で、いろいろな友達と関わる機会が増えた。
- ・全園児で体操やダンスをする機会を増やし、存分に楽しんだ。運動会の取り組みでは3・4歳児は年上の友達に憧れの気持ちを持ち、5歳児は年下の友達に認められたり教えたりする経験を通して自信をもった。また、運動会後に一緒にダンスを教え合い、より自己肯定感が高まった。
- ・キッズフェスティバルでは、3学年合同のグループで互いに作品を見合うことで、自分の作品を見てもらう喜びや達成感を味わうことができた。
- ・2号認定こどもの保育時間に異年齢で関わって長い時間過ごしているため、通常保育時にも積極的に関わる姿が見られ、親しみをもっていた。
- ・年間計画に沿って、異年齢で園外保育に出かけた。事前にふれあい遊びをしたり、遠足ごっこで園内散歩をしたりして、期待を高めた。5歳児は、3・4歳児に公共のルールを教え、責任感や頼られる充実感を味わった。
- ・発表会に向けての活動では、互いの劇遊びを見合い、それぞれが認め合って自己肯定感の向上につながった。5歳児が楽器の扱い方を教えたり、場面遊びを一緒に遊んだりして関わりを深め、より自信につながった。
- ・遊びの振り返りを1日に1回以上行い、自分の思いや考えを知らせる経験を重ねることで自信につながってきている。

次年度への改善点

- ① 今年度と想定を変えて防犯訓練を行う。  
食物アレルギーや医療的ケア児の緊急時対応研修の想定を変えて複数回実施する。

## 大阪市立貫江田幼稚園 令和 7 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<b>【未来を切り拓く学力・体力の向上】</b> <b>学校園の年度目標</b> ○保護者アンケート「子どもは遊びの中において自分で考え行動するようになった」の項目で、「そう思う」と回答する割合を年度当初より向上させる。 ○保護者アンケート「子どもは友達と思いや考えを出し合いながら遊ぶことを楽しむようになった」の項目で、「そう思う」と回答する割合を年度当初より向上させる。 ○保護者アンケート「子どもは手洗いやうがいを丁寧にするようになった」の項目で、「そう思う」と回答する割合を年度当初より向上させる。	B
年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【3 幼児教育の推進と質の向上】 友達と思いや考えを出し合いながら、意欲的に遊ぶための環境構成や指導方法を工夫する。	B
指標 ・週2回以上担任間で保育の振り返りを行い子どもの姿を共有し、保育内容を検討する。 ・週1回子どもの実態をもとに週案を立案し、環境の再構築を行う。	
取組内容②【4 誰一人取り残さない学力の向上】 様々な絵本やお話に親しむ機会をもつ。	B
指標 ・週1回以上、絵本やお話に親しむ機会をつくる。 ・保護者アンケート「相手の話を聞こうとする気持ちが育ってきた」の項目で、「そう思う」と回答する割合を年度当初より向上させる。	
取組内容③【5 健やかな体の育成】 子どもの実態を把握し、担任と養護教諭が継続して指導を行い、家庭との連携を図る。	B
指標 ・年3回以上、生活習慣調査を実施し、家庭での実態を把握する。 ・子どもの実態・発達に応じた保健指導を月1回以上実施する。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
<b>中期目標の達成状況</b> 保護者アンケート「子どもは遊びの中において自分で考え行動するようになった」「子どもは友達と思いや考えを出し合いながら遊ぶことを楽しむようになった」「子どもは手洗いやうがいを丁寧にするようになった」の項目について、肯定的回答の割合が100%、99%、96%となり、目標達成状況はBである。	

学校園の年度目標

	肯定的な回答の割合			「そう思う」と回答した割合		
	5月	10月	1月	5月	10月	1月
子どもは遊びの中において自分で考え行動するようになった	97%	100%	100%	67%	86%	85%
子どもは友達と思いや考えを出し合いながら遊ぶことを楽しむようになった	89%	99%	99%	53%	75%	76%
子どもは手洗いやうがいや丁寧にするようになった	91%	95%	96%	58%	73%	74%

取組内容①

- ・担任間で連絡ノートを作成し、子どもの様子や保護者との連絡事項の内容などを共有した
  - ・5歳児…週案作成の際は、各クラスの取り組みを共有し、園行事に向けて学年の共通のねらいや保育をする上での留意点などを話し合い、子どもの実態に合わせて環境を再構成した。週4回以上担任間でクラスの様子を共有して、次の日の保育に生かしたことで、伸び伸びと自信をもって活動する姿につながった。
  - ・4歳児…学年間・担任間で週3回以上子どもの実態から今後の取り組み内容やねらい、留意点を話し合った。週案は、行事や子どもの興味に合った遊びから立案している。子どもが興味をもっていることにすぐに挑戦したり、遊びに取り入れたりしやすい環境を構成し、自分で面白い遊びを見つけて楽しむ姿が増えてきた。また、友達から刺激を受け、新しい遊びに意欲的に挑戦する姿が増えた。生活発表会では、何度も話し合う中で、自分で遊びに必要なものを考え、つくったり、かいたりする姿が見られた。考えたことを他児に知らせる機会をもつと、友達の考えを自分の遊びに取り入れ、さらに遊びが盛り上がっていった。
  - ・3歳児…学年間・担任間で週3回以上子どもの興味や関心を探りながら保育のねらいを話し合った。好きな遊びの中でごっこ遊びや表現遊びを楽しむ姿から行事の取り組みを考えた。また、安心して園生活を送れるように環境構成を見直し、日々の保育の振り返りを通して次の活動に活かせるように課題を明確にすることで伸び伸びと遊ぶ姿が見られるようになった。3学期には子どもが手に取りやすい位置に道具や素材を用意し、自ら遊びに必要な道具をいつでも使えるようにしたことで、主体的に遊びを広げようとする様子が見られ、劇遊びにつながった。

取組内容②

	肯定的な回答の割合			「そう思う」と回答した割合		
	5月	10月	1月	5月	10月	1月
相手の話を聞こうとする気持ちが育ってきた	94%	98%	98%	44%	58%	70%

- ・各クラスで、週に2回以上絵本の読み聞かせをしている。
- ・「絵本の読み聞かせ」（福島区更生保護女性会）や「絵本の会」（大阪市立福島図書館絵本ボランティア）を学期に1回以上行い、絵本に対する興味や関心が高まっている。
- ・毎週金曜日に絵本貸し出しを行い、興味のある本を選び楽しそうに読んだり、親子で絵本に触れたりしている。
- ・毎月の誕生会や行事前には、関連する絵本の読み聞かせを行っている。
- ・ダンゴムシやアゲハチョウ、カブトムシなどの育て方を図鑑で調べ、生き物への興味が高まった。
- ・給食の時に、読み聞かせのCDを聞く時間をつくったことで、話を聞きながら落ち着いて給食を食

べることができた。

- ・保育室内の絵本を定期的に入れ替え、季節や行事に関する内容の絵本を用意して興味をもてるようにした。

### 取組内容③

- ・1学期の保健指導内容・・・4月（生活リズムについて）5月（トイレの使い方）6月（4，5歳児…生命の安全教育としてプライベートパーツについて 3歳児…うがいの仕方）7月（熱中症予防）
- 2学期の保健指導内容・・・9月（けがの予防）10月（靴の履き方）11月（手洗い）12月（3色食品群（食べ物の栄養）について）
- 3学期の保健指導内容・・・1月（3歳児対象：いいタッチ・嫌なタッチ、4，5歳児対象：感染症の予防とあいうべ体操）2月（3歳児対象：あいうべ体操、4，5歳児対象：いいタッチ・嫌なタッチ）3月（よい生活習慣の形成について）

幼児の実態や健康課題に沿った指導が実施できるよう、保健指導のテーマや内容について担任と相談しながら進めた。併せて保健室前の掲示板や廊下に掲示物を掲出し、幼児が視覚的、体験的に心身の健康や健康的な生活習慣について関心をもてるような工夫を行った。

保健指導後は、保健指導の内容を思い出しながら自分でやろうとする姿や友達と互いに教え合う様子が見られた。特に手洗い指導の後には手順を確認しながら丁寧に手を洗う姿が見られ、保護者からも「幼稚園で教えてもらったから、家でも毎日手洗いをがんばっている」「毎月の保健指導を楽しみにしていて、教えてもらったことを家でも話してくれる」との感想が聞かれた。

保護者啓発として、毎月の保健だよりを発行している。「生命の安全教育」について1学期の終業式に保護者にスライド資料を用いて話をし、同日に「生命の安全教育」について事後アンケートを実施した。また、2学期終業式には感染症の動向と予防方法について幼児への指導で使用した教材を用いて保護者に啓発を行った。出席簿や感染症情報システムを活用し、地域や幼稚園での感染症の流行の際に掲示物やコドモンで情報提供を行ったり、欠席者の集計を行って園での体調不良者の動向を保護者に都度周知している。

### 次年度への改善点

- ① 友達同士で刺激を受け合えるように他児と関われるような環境を工夫する。
- ② 各クラスで子どもの興味関心に合わせた絵本の読み聞かせを行ったり、季節にあった絵本を子どもが手に取りやすいように配置したりする。
- ③ 担任との連携や保護者啓発を今後も続けて、健康的な生活習慣の形成について自分で進んで行く意識を高めるための取り組みを工夫する。幼児に対しては、掲示物や音楽などを用いて、楽しい雰囲気では生活習慣が身につくよう工夫する。健康的な生活習慣について身につけているかどうかは個人差が大きく、担任との連携や保護者啓発を今後も続けて、健康的な生活習慣の形成について自分で進んで行く意識を高めるための取り組みを工夫する必要があると考える。今年度は朝の登園時間に間に合わない子どもが数名見られた。子どもも保護者も早寝早起きについて意識できるような取り組みを工夫する。

大阪市立貫江田幼稚園 令和 7 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<b>【学びを支える教育環境の充実】</b> <u>学校園の年度目標</u> ○保護者アンケート「幼稚園は、地域の方々との関わりや幼小交流など、いろいろな人とのふれあいを大切にしている」の項目で、「そう思う」と回答する割合を年度当初より向上させる。	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 教員の資質向上に努める。	B
指標 <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間計画を立て、年 10 回以上、園内研修会を実施する。</li> <li>・年 2 回以上実践記録をとり、子どもの育ちや教育的意図をもった働きかけについて検討する。</li> <li>・学期に 1 回、就学前教育カリキュラム及び参考教育課程を参考に認定こども園の教育課程・年間計画を見直す。</li> </ul>	
取組内容②【9 家庭・地域等との連携・協働した教育の推進】 幼稚園の取り組みを家庭や地域、他校種に発信するとともに、連携する。	B
指標 <ul style="list-style-type: none"> <li>・学期に 1 回以上、他校種と実施方法を工夫して交流し、連携を図る。</li> <li>・年 3 回、地域と実施方法を工夫して交流する。</li> <li>・月 12 回以上、ホームページを更新して、保育内容を広く発信する。</li> <li>・保育参観やドキュメンテーションなどを活用して、保護者に保育内容を発信し、理解を促す。</li> </ul>	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

中期目標の達成状況

保護者アンケート「幼稚園は、地域の方々との関わりや幼小交流など、いろいろな人とのふれあいを大切にしている」の項目について、肯定的回答の割合が 97% となり、目標達成状況は A である。

学校園の年度目標

	肯定的な回答の割合			「そう思う」と回答した割合		
	5 月	10 月	1 月	5 月	10 月	1 月
幼稚園は、地域の方々との関わりや幼小交流など、いろいろな人とのふれあいを大切にしている	100%	99%	97%	79%	81%	88%

取組内容①

・園内研修会は、（5月そら組、6月さくら組・全クラス合同、こあら組、7月ばら組、9月つき組、ぱんだ組、10月ばら組、さくら組、11月つき組、さくら組、12月こあら組、そら組、3月ぱんだ組）の計 14 回実施した。園内研修会の検討会では、子どもの姿から教師がどのように働きかけたらよいかについて意見を出し合った。保育を見ていない教職員には、動画で共有するようにした。昨年度の反省から、年間計画を立て、研究保育を行ってからできるだけ早く検討会の時間を設けられるように、計画的に進めることができた。また、教育指導員による園内研修支援・

指導要請として園内研修会を実施した。保育力向上アドバイスシートを活用して検討会を行い、成果や課題を明確にしたことが学びとなった。教職員が多いことで、多面的に保育を見ることができ、いろいろな意見をもらうことで、教職員の資質向上につながっている。

- ・「自分の思いを表現する楽しさを味わう幼児を育てる一かいたり、つくったりする中で一」という研究主題のもと、年2回（4・5月、6月）実践記録を取り、「幼児が表現することを楽しんでいく姿」「心の動き」「教師の教育的意図をもった働きかけ」「環境」について、読みとりをした上で、全体での検討を行った。今年度は、表現を楽しむ姿につながった「心の動き」も読みとり、記録に書いたことで、子どもが何に興味や関心をもっているのかということを探ることができた。
- ・学期の終わりの8月、12月、3月に教育課程・年間指導計画を見直し、保育に生かすことができた。

#### 取組内容②

##### ・小学校との交流

6月…4歳児・5歳児が鷺洲小学校中庭にアジサイを見に行った。

5歳児が図書室訪問をした。

9月…5歳児が鷺洲小学校1年生の授業の様子を見学した。

10月…5歳児が鷺洲小学校6年生の「ソーラン節」を見学した。

11月…5歳児が音楽会で歌った歌を鷺洲小学校6年生と1年生に披露した。

12月…鷺洲小学校と合同で地震・津波を想定した避難訓練を行った。

2月…5歳児が海老江東小学校1年生と交流した。

5歳児が鷺洲小学校の交流会に参加し、1年生と学校のオリエンテーリングをした。交流会の中で近隣保育園の5歳児と一緒に関わった。

##### ・中学校との交流

11月…下福島中学校（職場体験）

12月…八阪中学校（職場体験） 5歳児が八阪中学校2年生へ歌を披露した。

1月…中之島小中一貫校（職場体験）

##### ・地域との交流

10月…5歳児が鷺洲コミュニティセンターで歌を披露した。「中央公会堂でも頑張って歌ってね」と応援していただき、歌う楽しさを感じることができた。

12月…4歳児が海老江東コミュニティセンターで歌を披露した。「素敵だったね」と認めていただき、聴いてもらう喜びを感じていた。

3月…近隣保育園と5歳児が園庭で一緒に遊ぶ。

##### ・更生保護女性会の方による絵本読み聞かせを5月、6月、8月、12月、1月、2月に行った。

普段から給食の配膳で来ていただいているため、子どもたちは親しみをもっている。また、

12月の絵本の読み聞かせ後に、子どもが作品展の案内をした。たくさん認めてもらい、子どもたちは満足感を感じていた。

##### ・各クラスでの取り組みや行事などをホームページで月12回以上発信している。

- ・1学期の遊びをもとにドキュメンテーションを作成し、教職員間で検討会をし、遊びの中の子どもたちの姿や学び、育ちを2学期の始業式で保護者に伝えた。また、キッズフェスティバルに向けて取り組む姿についてのドキュメンテーションを作成し、幼児の姿や学び、教育的意図をもった働きかけや幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿などを掲示して啓発した。

#### 次学期への改善点

- ① 認定こども園の勤務形態に合わせた園内研修会のもち方について検討する。指導要請・園内研修支援については、より有意義なものにできるように、3・4・5歳時の縦割りでも2回に分けて行っていく。また、2号認定の子どもが増えてきているという園の実態を受け、教育課程の見直しもしていく。
- ② 他校種との交流を立案の際に担任同士で検討し、実施後反省を行う。